

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

MBCラジオ ポニーメイツが諏訪幼児学園にやってきた



2月9日火曜日、午前9時15分からMBCラジオのインタビューに諏訪幼児学園の園児57名が出演しました。

このラジオ番組には年長さんを中心に参加し、はじめに園歌を大きな声で歌いました。この園歌は3年前まで諏訪小学校の教頭先生をしていらつしゃった三好先生の奥さん、真貴子さんが作られたもので、インタビュー終了後、種子島に引っ越しされた真貴子さんに電話すると、「園児の歌声がとてもよく聞こえ、諏訪を懐かしく思い出すことができた」ととても喜んでいらつしゃいました。園児たちは緊張しながらも、自分たちの作った粘土についてはっきりと話すなど、園児たちの緊張いっぱいよそゆきの顔でしたが、番組終了後、ポニーメイツの田中さん、鮫島さんと一緒に、花いちもんめや鬼ごっこをすると輝いて見えました。ラジオ番組参加を思いっきり楽しんだ諏訪幼児学園でした。

ゴミから地域を守りましょう 財部北俣地区



1月23日、財部城山地区、西村地区できれいな地域づくりを呼びかける看板設置活動が実施されました。

この活動は、策定委員会（財部校区北俣地域を語る会）の中で地域の困りごととしてあがった地域環境の課題に対する取り組みとして皆で考えたもので、今後、北俣地域全体で取り組んでいく前にモデル的に行ったものです。

当日は、策定委員を中心とした約30名で、ゴミ拾いやゴミの分別を行いました。また財部中学校の生徒の皆さんの協力をいただいて作製された看板の設置も行いました。普段通る地域を、意識して歩いてみるとたくさんのゴミが捨てられていて、その量は、軽トラック2台分になりました。

今回の活動で、皆で何かに取り組むことの喜びや達成感、地域に対する思いなど、それぞれ何かを感じられたのではないのでしょうか。

テレビ宮崎アナウンサーに大興奮



2月23日、諏訪小学校にテレビ宮崎の岩下克樹アナウンサーが訪問し、読み聞かせや講話を行いました。

岩下アナウンサーは、大学を卒業したての社会人2年目の若者で、ハキハキしたとても親しみやすい語り口調に子ども達もすがすがしい顔で聞き入っていました。

テレビ宮崎、土曜午後6時30分の番組に出演しているせいか、有名人の訪問に子ども達も多少興奮気味の様子でした。

岩下さんは、講話の中で、「今、夢がなくても興味のある事を一生懸命頑張れば、きっとそれはみつかります。」とおっしゃっていました。

6年生の福元綾美さんは「私もアナウンサーになりたいと思っているので、夢に向かって勉強など一生懸命頑張りたい」と笑顔で話してくれました。

有機センター たい肥コンクール優秀賞



2月23日、市長室で鹿児島県たい肥コンクールで優秀賞の市長伝達式がありました。

このコンクールは、たい肥生産施設の生産技術の向上や耕種農家のニーズに合ったたい肥づくり、利用促進を図ること等を目的に開催されているものです。

曾於市有機センターは、品質向上やコスト低減に努力する他、環境保全や耕種農家との連携にも力を入れ、常に安定供給を行っている事を認められての受賞であります。

曾於市の有機農業をますます発展される上で、この賞はとても励みになるのではないのでしょうか。

家族経営協定を締結



2月25日、末吉支所で家族経営協定の調印式が行われました。

市では、農業が労働基準法が適用されないことから、家族労務管理や福利厚生面を家族全員で話し合い、農業面の役割分担、労働時間、小遣いや給料・賞与、収益の配分等さまざまな決めたことを文書化する「家族経営協定」を進めています。

当日は、8家族が家族経営協定を締結。調印後は、各家族の代表がそれぞれに熱い抱負を話され、曾於市の基幹産業である農業の発展を誓い合いました。

第2市吉橋開通



2月23日、大隅町の市道 笠木・かんじん松線の市吉地区内に建設された第2市吉橋の渡り初め式が開催されました。

この市吉橋は、主要地方道志布志・福山線から県道光神山諏訪方線を結ぶ路線で、今後地域内の方々の生活道路としても、末吉・財部インターチェンジ等を利用しての陸路での搬出路としても期待されているようです。

橋長37㍍、幅員7㍍のりっぱな橋ができあがりました。

当日は、式を行うには絶好のぽかぽか陽気で、集まった地域住民や関係者の方々も、真新しい橋を一歩一歩踏みしめながら笑顔で渡り初めをしている様子が印象的でした。

100人テント絵完成！！ 深川小学校



末吉町深川小学校で、巨大100人テント絵が完成しました。

このテント絵は、二科会理事長を務めた洋画家の吉井淳二さんが地元の深川で生まれたことにちなんで、絵を児童・PTA・校区住民で同じキャンパスで描けないかという提案があり、実現したものです。

劣化しにくいテント生地に児童や親御さん達が「20年後のわたし」と題してそれぞれの思いをしたためて完成しました。

絵具等の材料代は、公民館役員の報酬の一部を寄附し購入したそうです。

1年生の種子田光君は、「イチローみたいな野球選手になりたいです。」と自分の絵を指差して話してくれました。

最後まで歩くことができました。



2月13日、末吉町岩北・岩南子供会合同の歩こう会がありました。

この歩こう会は、両校区の育成会が主催したもので、体力・忍耐力の向上や他校との交流を通じ、子供達の健全育成を目的に行われたものです。

都城市下長飯町のタイヨー都城店から末吉町岩崎の岩崎研修センターまでの約15㍍を鳥のさえずりや春の息吹を感じながら、それぞれのペースで歩きました。

途中3回の休憩や昼食をとりましたが、子ども達より親御さんの方がぐったりしているようでした。

ゴールの岩崎研修センターに着くと、みんな満足感いっぱいのもちよさそうな笑顔を見せてくれました。

高速道路開通イベント ウォーキング大会開催



3月14日に東九州自動車道の曾於弥五郎IC-末吉財部IC間(11.1キロ)の開通を記念して、開通前イベントウォーキング大会が開催されました。

当日は、あいにくの小雨まじりではありましたが、市内外から1200人の参加者が集まり、開通前の車道から田園風景を見たり、記念撮影をするなど思い思いに楽しみながら散策していました。

ウォーキングは、インターチェンジを発着点に2キロ、4キロ、6キロのコースがあり、参加者は、それぞれのペースでそれぞれの思いを胸に楽しんで歩いていました。

今回のこのイベントには、岩川の八幡神社から弥五郎どんもやってきて、豪快な弥五郎太鼓とともにイベントを大いに盛り上げてくれました。

この高速道路開通によって市内の農産物や文化がより速く発信できるとともに、県内外からの観光客の流入増大も期待されているようです。

末吉町にお住いで、大隅町飯田出身の上山幸一さんは「少し天気が悪くて残念だったが、高速の車道を歩くような機会はめったにない事で、勇壮な弥五郎どんの姿と豪快な弥五郎太鼓を同時に満喫する事ができとてもいい経験ができました。」とおっしゃっていました。

気象庁は警報・注意報を市町村ごとに発表します！

気象庁では、今年5月27日(予定)から気象に関するすべての警報・注意報を市町村ごとに発表します。

現在、鹿児島地方気象台では警報・注意報を、「川薩・始良」「鹿児島・日置」のように県内を12地域に細分して発表していますが、発表区域を市町村ごとにする事で、どこを対象に警報・注意報が発表されているのかが分かりやすくなるなどメリットがあります。

